

03月度 <b>例会</b> 山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL: 藤田勝啓 SL: 町田修 上田正博、竹内幹雄、 金子清、天野広 津田廣一 (記)
03月度 <b>個人</b> 山行報告書		報告日	4月5日		
山城	中央アルプス	山行日	2021年03月26日(金)		
山名	木曾駒ヶ岳				
山行目的	雪山トレーニング		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先  
総会参加数  
山行: 1  
リーダー  
原紙:  
会事務局



03/26 晴後曇り  
04:45 藤田宅発  
07:30 菅の台駐車場  
08:45 しらび平  
09:12 千畳敷駅  
09:45 千畳敷発  
10:40 宝剣山荘一本  
12:00 木曾駒ヶ岳頂上  
13:45 千畳敷  
14:02 しらび平  
16:42 菅の台駐車場



十分な距離を取って登る



風を避けて1本



千畳敷の絶景をバックに



木曾駒が見える

〈山行報告〉 5時頃を目安に、天野・上田氏をピックアップして、駒ヶ根・菅の台駐車場を目指す。私が便乗しているのを見て天野氏が吃驚。藤田宅に昨夜から泊めてもらった旨を説明し納得。予定通りに7時半に菅の台Pに到着。登山靴に履き替え、ウェアを変えてしらび平行の始発バスに乗り込む。始発のロープウェイで千畳敷へ。最初から、アイゼン・ピッケルの完全装備へ。写真撮影中の方に、集合写真を撮ってもらって千畳敷を出発。14日に雪崩発生の事もあり、念の為、1人ずつ距離を十分に取って登っていく。急登になるも、雪もしまつてアイゼンが心地よく効いて登りやすい。1hぐらいで乗越へで、休憩と同時にハーネスを装着、ザイルを出しアンザイレン歩行の練習で進む。風が少し強く(10~15mぐらい?)、風に振られる事も考慮して、中岳の登りに入る前にアンザイレンをやめる。風に抗らいながら、1歩1歩進む。1hと少し、頂上だ!握手して、駒ヶ岳と記された杭の所でバチリ。残念ながら、山頂は曇って景色は見えず。防寒着は着ているものの暖かくもなく、しばし休憩して早々に下山にかかる。あっという間に中岳を越えて乗越に至る。ここからは、急傾斜部を慎重に進む。藤田CLが最傾斜部をステップを切ってくれたお蔭で楽に降りる事ができた。千畳敷近くまで降りてきた所で、上の方で滑っている登山者を発見(幸いに止まって無事だったが)。1時55分発のロープウェイに間に合いそうなので、急いで千畳敷を目指し、10分前に到着。アイゼンを外し、無事下山。久しぶりの雪山、楽しかった。

(リーダー所見)

モンブラン登山の雪山トレーニング山行2回目。3/14の千畳敷カール雪崩事故と天ナビ情報の「木曾駒頂上は風速20~25m強風」が心配点であった。前日にロープウェイの運行状況と千畳敷カールの登山道状態を電話確認して、なんとか大丈夫と判断して決行。現地で千畳敷情報を確認して出発。コースのポイントは八丁坂から浄土乗越の急斜面と頂上付近の強風(天ナビ情報程でなくて良かった)アイゼン歩行で先回の竜ヶ岳より長時間(正味4h)、強風下と急斜面を登降することが出来、有意義な訓練であった。



木曾駒登頂 (おやじの面々)

確認  
(リーダー)  
藤  
21/04/05  
田  
作成  
(報告者)  
津  
21/04/05  
田